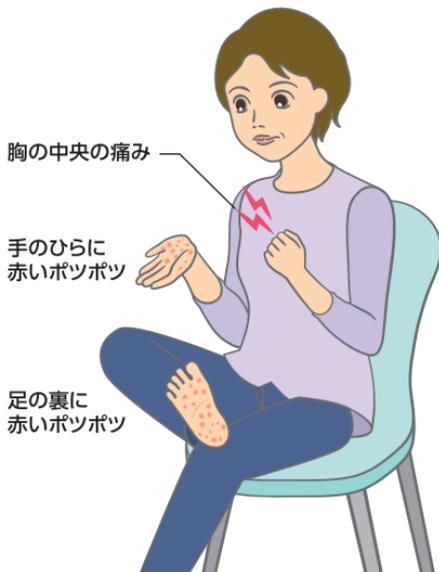


手のひらや足の裏の水疱が治りません
「掌蹠膿疱症」の可能性が 있습니다
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

掌蹠膿疱症の症状



手のひらや足の裏に小さな水疱ができ、それが広がっていくことがあります。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「症状は？」
「手足湿疹」と間違えられることもあります。足の裏にも出たり、痛みを伴うようであれば「掌蹠膿疱症（しょうせき）」

「原因は？」
「金属アレルギーや扁桃炎、喫煙も関係していると言われますが、はつきりとした原因が分かっています。小さな水疱が次第に黄色く膿をもち、その後かさぶたになって皮膚の角層がはがれてきます。掌蹠膿疱症性骨関節炎という合併症を発症し、胸の鎖骨部の関節に強い腫れや痛みを生じることがあります」

「治療法は？」
「レタミンD3軟膏やステロイド軟膏で膿疱を抑えます。皮膚の細胞増殖や炎症を抑制する紫外線療法も行います。慢性化していることが多く、治療には時間がかかります。まずは皮膚科の医師に相談を」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2019年10月25日付 「リビング多摩」に掲載されました